

会告 I

第 60 回日本輸血・細胞治療学会総会のご案内 (第 4 報)

第 60 回日本輸血・細胞治療学会総会は「輸血と細胞治療～信の醸成と智の具現～」のテーマのもとに、福島県郡山市で開催されます。

日本で、輸血医学研究が学会活動としてまとまった形態をとるようになって 60 年。近代輸血医学は感染症との闘いの歴史であり、先達の英知によって、数多くの重症輸血感染症を克服して参りました。また他方、同種免疫との葛藤は、血液型の解明、取り違え防止の進化、白血球除去や放射線照射などで大きな進歩を遂げてきました。さらに、細胞治療の進歩は多くの患者に福音をもたらしています。しかし、日本は超高齢社会という未曾有の将来に向かって、血液の安定的供給に黄色信号が点滅し、輸血医療全体が揺るぎかねなくなって来ました。輸血医療と細胞治療分野において、国民が信頼し合える環境を醸成することと未知への挑戦がわれわれ日本輸血・細胞治療学会の使命であります。

第 60 回総会は、3.11 東日本大震災のため紙上開催となった第 59 回本学会総会の、周到に準備された各種シンポジウムなどの企画を引き継ぎ、いわば第 59 回+第 60 回として開催したいと準備を進めております。幸い、多くの演題を登録いただき、また、共催企業のご支援により、充実した内容となっております。

福島の地で復興を祈念しつつ、輸血・細胞治療と皆様の発展に役立てていただけることを心から願い、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

第 60 回日本輸血・細胞治療学会総会
総会長 大戸 齊
(福島県立医科大学 輸血・移植免疫学 教授)

記

1. 会 期：2012 年 (平成 24 年) 5 月 25 日 (金)～27 日 (日)
2. 会 場：ホテルハマツ郡山
〒963-8578 福島県郡山市虎丸町 3 番 18 号
TEL：024-935-1111 (代)
<http://www.hotel-hamatsu.co.jp>
3. 特別プログラム (一部仮題) ※敬称略
 - 1) 総会長講演
血小板の保存と保存傷害の克服 (大戸 齊：福島県立医科大学)
 - 2) 特別講演
 1. Blood Component Transfusions for Infants：Guidelines & Products (Ronald G. Strauss：Iowa 大学)
 2. 経口肝炎ウイルス：最近の知見 (岡本 宏明：自治医科大学)
 3. 放射線災害医療と健康リスク管理 (山下 俊一：福島県立医科大学副学長)
 4. 日本のジャンヌダルクとよばれた女性：会津人・山本八重 (星 亮一：日本文芸家協会)
 5. Biovigilance in the USA：Improving transfusion outcomes by analyzing adverse events (Richard Benjamin：American Red Cross)
 6. 高等医学教育と輸血医学 (案) (文部科学省高等教育局医学教育課) (予定)
 - 3) 村上記念賞受賞講演
 1. 2011 年 (第 10 回) 受賞講演：
血小板輸血副作用と CD36 (池田 久實：北海道赤十字血液センター)

2. 2012年(第11回)受賞講演
- 4) 学術奨励賞講演
 1. 2011年受賞講演
 - ① 遺伝子導入血小板抗原発現細胞を用いたMAIPA法の検討(尼岸 悦子)
 - ② 抗HLAI抗体による好中球活性化と脱顆粒に関する検討(高橋 大輔)
 - ③ 複合的な抗血小板同種抗体検査法の開発の重要性(松橋 美佳)
 2. 2012年受賞講演
- 5) 教育講演
 1. 臨床研究に関する規制と今後の動向(佐藤 典宏:北海道大学)
 2. 赤血球抗原:最近の知見(内川 誠:東京都赤十字血液センター)
 3. 顆粒球輸血の実際と臨床的効果(菊田 敦:福島県立医科大学)
 4. ヘパリン起因性血小板減少症の本邦における現状と診断の問題点(宮田 茂樹:国立循環器病研究センター)
 5. アジア人における赤血球不規則抗体共同研究(竹下 明裕:浜松医科大学)
 6. ヘモグロビンの構造と結合酸素の安定性(松岡 有樹:福島県立医科大学)
 7. 難治性免疫性血小板減少症の治療(富山 佳昭:大阪大学)
 8. ABO不一致造血細胞移植(木村 文彦:防衛医科大学校)
 9. XMRVと輸血(浜口 功:国立感染症研究所)
 10. 播種性血管内凝固(DIC)における輸血療法(和田 英夫:三重大学)
- 6) シンポジウム
 1. 輸血の安全性の到達水準
 2. 将来の輸血医療/職種連携によるチーム医療の構築
 3. 輸血過誤と対策
 4. 洗浄血小板の臨床効果と将来展望
 5. 世界における血漿分画製剤治療の現況
 6. 危機的出血への輸血治療を検証する
 7. 輸血細胞治療:基礎から臨床へ
 8. 細胞移植と細胞治療に係る指針と運用
 9. 合同輸血療法委員会の役割と意義
- 7) パネルディスカッション
 1. 産科危機的出血の病態とその輸血対応
 2. こんな時どうすればいいか?
 3. 3.11大震災:救急医療と輸血
- 8) ワークショップ
 1. 輸血検査の進歩と検証
 2. 輸血医療のIT化と電子カルテ
 3. 献血資源を用いた研究のあり方と国民への還元
 4. 看護師と輸血業務
 5. 貯血式自己血輸血—適正な実施基準確立にむけて—
- 9) テクニカルセミナー

造血細胞の処理・操作・アッセイ
- 10) イブニングセミナー
 1. 自己フィブリン糊の可能性
 2. 認定輸血検査技師の現在
- 11) ガイダンス
 1. 認定医試験受験予定者のための講習会
 2. 学会認定・アフエレーシスナース受験予定者のためのガイダンス
 3. 学会認定・輸血臨床看護師受験予定者のためのガイダンス

- 12) 共催 (ランチョン) セミナー
- 13) 日本血小板・顆粒球型ワークショップ
I&A/Q&A, I&A 講習会

4. お知らせ：利益相反 (COI) 開示 (予定)

他の多くの学会に倣って、筆頭発表者はスライドかポスター掲示にて、過去1年間のCOI開示を予定しています。

5. 関連行事

- 1) 各種委員会・総理事会 平成24年5月24日 (木)
- 2) 社員総会 平成24年5月26日 (土)
- 3) 会員総会 平成24年5月26日 (土)
- 4) 会員懇親会 平成24年5月26日 (土)
- 5) 機器展示 平成24年5月25日 (金) ~27日 (日)

6. 連絡先

- 1) 第60回総会本部および運営事務局 (機器展示申込等全般) :

福島県立医科大学 輸血・移植免疫学講座
〒960-1295 福島県福島市光が丘1
TEL : 024-547-1539 FAX : 024-549-3126
E-mail : yuketu60@fmu.ac.jp

- 2) 第60回総会演題登録事務局 (演題登録) :

株式会社サンブラネット内
〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-10 住友成泉小石川ビル7階
TEL : 03-5940-2610 FAX : 03-3942-6396
E-mail : 60annual@sunpla-mcv.com

- 3) 学会本部事務局 (学会入会申込等) :

一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会 事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷2-14-14 ユニテビル5階
TEL : 03-5804-2611 FAX : 03-5804-2612
E-mail : 60annual@jstmct.or.jp

7. 総会ホームページ : <http://www.fmu.ac.jp/home/yuketsu/jstmct60/index.html>